

「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」（平成 26 年度）における
検討結果と実績（平成 26～29 年度）に関する検証について

1 総合計画と使用料見直しの経緯について

平成 25 年度に策定した「武蔵野市下水道総合計画 2014」においては、将来の下水道の財政見通しとして、当時の使用料体系を維持したと仮定した場合の検討を行いました。

その中では、流域下水道への新たな負担金や下水道の再構築等の各種事業の増大が見込まれることから、将来的には、使用料で賄うべき経費（私費負担）を使用料で賄うことができず、その不足分を一般会計繰入金で補うことが、懸案事項として位置付けられ、そのための施策として以下の事項が答申されています。

答申「下水道経営のあり方について」（平成 25 年 10 月 21 日）にて盛り込まれた施策

(1) 下水道使用料について

① 施設の新設や更新に必要な経費を使用料対象経費に算入する。

② 市民の急激な負担増を避けるために、段階的に使用料を見直す。

(2) 市債残高の縮減

① 下水道使用料収入で汚水分の建設事業費を賄い起債額を抑制する。

② 使用料収入により基金を積み立て、後年度の建設経費及び維持管理経費が不足する
場合に取り崩して支出する。

(3) 今後の方向

① 具体的な建設経費の抑制幅や下水道使用料の改定率は、次回の下水道使用料改定時に検討すべき。

これをうけて、平成 26 年度に開催された「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」では、市債の抑制や基金の創設を見据えた財政シミュレーションについて検討を行い、具体的な改定率の検討等を行いました。

また、維持管理費や使用料収入等の設定について、再検証を行っています。

次頁に、「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」において検討された収支シミュレーションの結果を示します。

表-1 財政シミュレーション結果【「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」（平成26年度）での検討結果】

■財政計画総括表（起債抑制20%＋将来資金確保・使用料H28年度から4年おき改定率3.7% H44年度のみ1.6% ※H29より消費税率を10%に設定

項目/年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H26 -H45 合計
使用料改定の想定			改定				改定				改定				改定				改定		
歳出(百万円)	3,955	4,151	3,221	2,623	2,752	2,795	2,846	2,788	2,778	2,763	4,058	4,061	4,080	4,102	4,087	4,631	4,671	4,712	3,708	4,800	73,584
建設費	1,905	2,059	1,058	434	557	568	562	501	491	491	1,741	1,741	1,741	1,741	1,657	2,179	2,179	2,179	1,113	2,179	27,078
維持管理費	1,674	1,692	1,687	1,701	1,696	1,686	1,679	1,673	1,667	1,658	1,653	1,647	1,648	1,650	1,651	1,652	1,653	1,654	1,656	1,657	33,334
起債償還費	339	365	404	416	440	516	540	558	574	578	589	613	639	665	688	714	765	814	862	898	11,977
基金積立	37	35	72	72	59	25	65	56	46	36	75	60	52	46	91	86	74	65	77	66	1,195
歳入(百万円)	3,955	4,151	3,221	2,623	2,752	2,795	2,846	2,788	2,778	2,763	4,058	4,061	4,080	4,102	4,087	4,631	4,671	4,712	3,708	4,800	73,584
国庫補助金	621	850	158	99	149	152	149	125	122	122	622	622	622	622	548	756	756	756	330	756	8,937
都補助金	31	42	7	4	7	7	7	6	6	6	31	31	31	31	27	37	37	37	16	37	440
市債	1,128	792	570	206	262	268	268	240	234	234	814	814	814	814	810	1,053	1,053	1,053	557	1,053	13,037
使用料	1,356	1,350	1,394	1,407	1,398	1,389	1,427	1,417	1,406	1,391	1,431	1,419	1,422	1,425	1,479	1,482	1,484	1,487	1,514	1,517	28,595
一般会計繰入金	787	953	942	893	917	959	975	981	991	991	1,096	1,111	1,127	1,146	1,160	1,221	1,259	1,297	1,247	1,355	21,408
公費負担分	787	953	942	893	917	959	975	981	991	991	1,096	1,111	1,127	1,146	1,160	1,221	1,259	1,297	1,247	1,355	21,408
私費負担の歳入不足分																					0
基金繰入金		59	42	14	19	20	20	19	19	19	64	64	64	64	63	82	82	82	44	82	922
その他	32	105	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245
有収水量(千m3/年)	17,234	17,166	17,081	16,932	16,826	16,714	16,553	16,438	16,316	16,136	16,003	15,875	15,906	15,935	15,960	15,982	16,010	16,040	16,072	16,104	
汚水処理費(百万円)	1,319	1,315	1,322	1,335	1,339	1,364	1,362	1,361	1,360	1,355	1,356	1,359	1,370	1,379	1,388	1,396	1,410	1,422	1,437	1,451	27,400
建設費	26	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	425
維持管理費	1,177	1,175	1,171	1,182	1,178	1,174	1,169	1,165	1,161	1,154	1,151	1,146	1,147	1,148	1,149	1,150	1,151	1,151	1,153	1,154	23,206
起債償還費	116	119	130	132	140	169	172	175	178	180	184	192	202	210	218	225	238	250	263	276	3,769
公債費負担比率(%)	8.6	8.8	9.3	9.4	10.0	12.2	12.1	12.4	12.7	12.9	12.9	13.5	14.2	14.7	14.7	15.2	16.0	16.8	17.4	18.2	
市債残高(百万円)	8,554	9,180	9,560	9,571	9,614	9,587	9,534	9,433	9,309	9,178	9,614	10,037	10,445	10,840	11,218	11,823	12,394	12,931	12,939	13,406	
汚水分	2,566	2,754	2,868	2,871	2,884	2,876	2,860	2,830	2,793	2,753	2,884	3,011	3,134	3,252	3,365	3,547	3,718	3,879	3,882	4,022	
雨水分	5,988	6,426	6,692	6,700	6,730	6,711	6,674	6,603	6,516	6,425	6,730	7,026	7,311	7,588	7,853	8,276	8,676	9,052	9,057	9,384	
基金残高(百万円)	76	52	82	140	180	185	230	267	294	311	322	318	306	288	316	320	312	295	328	312	

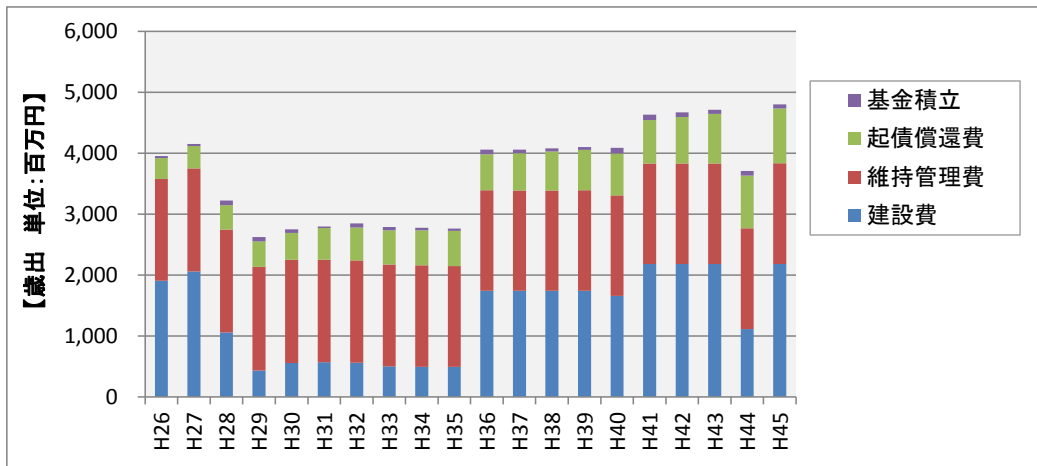
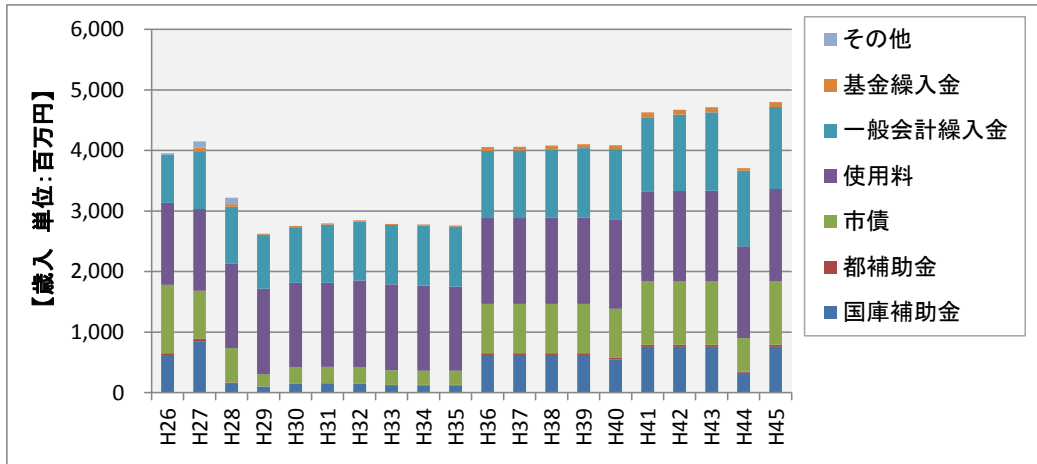


図-1 歳入・歳出の見通し

【「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」(平成26年度)での検討結果】

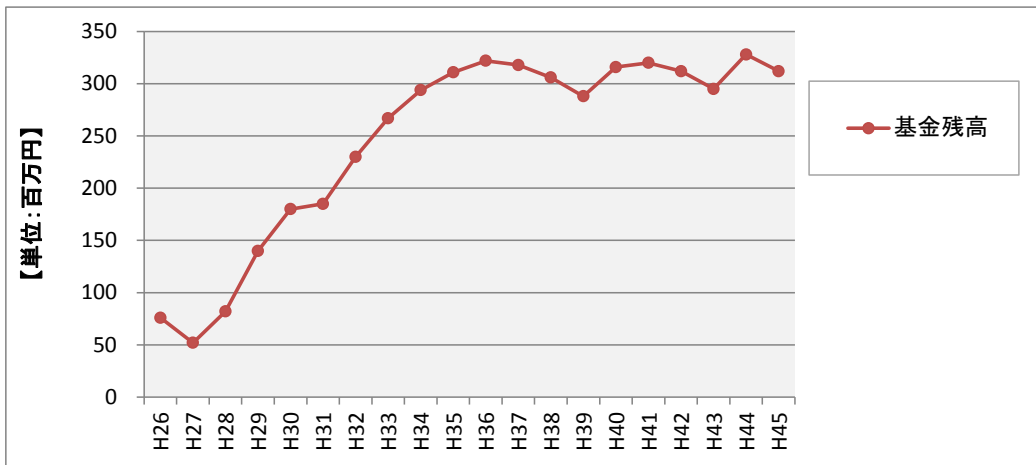


図-2 基金残高の見通し

【「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」(平成26年度)での検討結果】

2 計画値と実績値の動向

平成 26 年度に開催された「武蔵野市下水道使用料等検討委員会」における財政シミュレーションでは、基金の創設や市債の抑制等の各種施策を盛り込むとともに、下水道使用料収入については、改定を見込む等の設定の見直しを行っています。

ここでは、平成 25 年度の下水道総合計画見直しから大きく変更された、下水道使用料収入と基金残高について、計画値と実績値（平成 26～29 年度）の動向を検証しています。

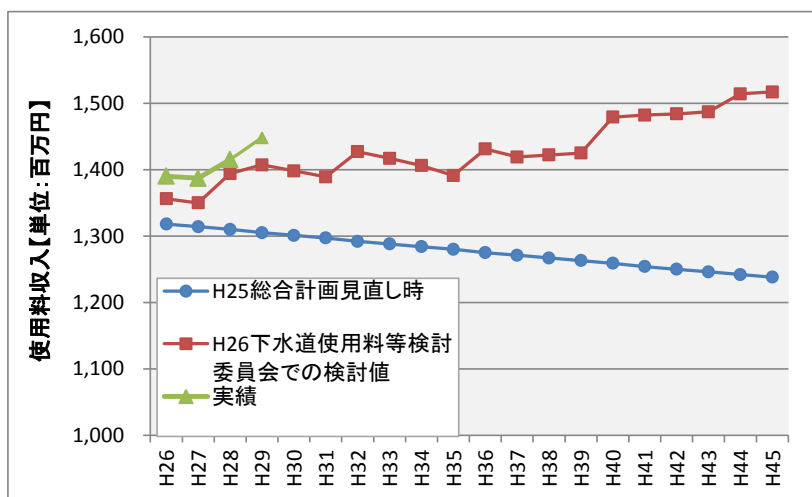
(1) 下水道使用料収入

下水道使用料収入に関する計画値と実績値の動向は次頁に示す図のとおりです。

総合計画見直し（H25）における計画値と実績値は、平成 28 年度に実施された使用料改定が見込まれていないこともあり、大きな差異が生じています。

下水道使用料等検討委員会での検討時（H26）における計画値と実績値とでは、使用料改定は見込んでいますが、2～3%程度、実績値が多くなっています。

これは、有収水量は減少傾向にあることから、栓数の増加による基本料金部分の増加が想定よりも多かったことが理由と考えられます。



項目/年度	H26	H27	H28	H29 (見込額)	備考
H25総合計画見直し時	1,318	1,314	1,310	1,305	
H26下水道使用料等検討委員会での検討値	1,356	1,350	1,394	1,407	
実績	1,390	1,387	1,415	1,448	

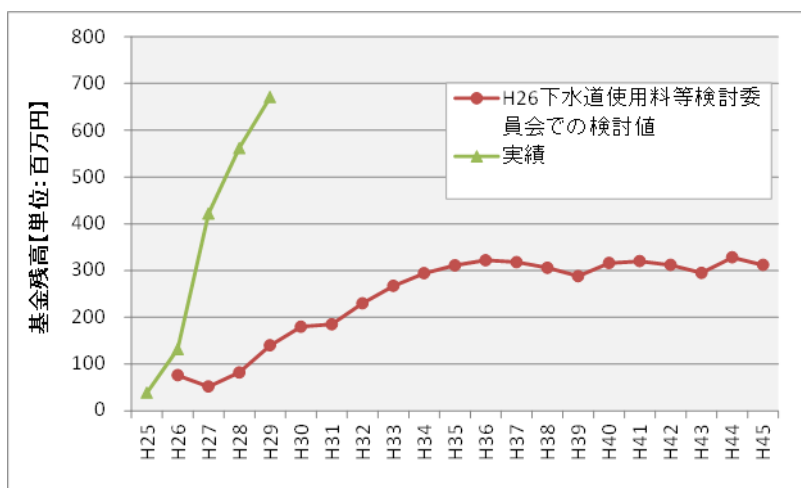
図-3 使用料収入 計画値と実績値の対比

(2) 基金残高

基金残高に関する計画値と実績値の動向は下図のとおりです。

基金残高は下水道使用料等検討委員会での検討値に比べて、増加しています。

これは、工事スケジュールの変更等に伴う汚水処理経費の減少、及び特に積立額が大きかった平成 27 年度においては約 8000 万円の消費税の還付があったことが理由です。



単位: 百万円

	H25	H26	H27	H28	H29 (見込額)
H26下水道使用料等検討委員会での検討値	—	76	52	82	140
実績	39	132	422	562	671

図-4 基金残高 計画値と実績値の対比